

町民から必要といわれる玉村町議会になるために



3つのグループに分かれ課題に取り組む

平成27年4月8日に、早稲田大学マニファエスト研究所議会改革調査研究部会の中村健先生をお招きして、議会改革についての共通認識を持つため、玉村町議会議員全員で議会改革研修会を行いました。研修会の主な内容は次のとおりです。

何が、今の地方議会に問われているか？

住民から見た透明性の確保と、議会自体の活動を客観視できる仕組み、そして議会が活動した結果「何が起ったか」である。

議会にとって重要なことは？

住民と相談や話し合いを行うことにより、多様な意見を集め政策として実現していくことである。議会報告は過去のこと、議会説明会は現在のこと。重要なことは、未来を住民とともにつくり上げていくことである。

議会改革のカギは？

議会基本条例をつくり、これを基に活動を進めれば、議会改革がスムーズに進められる。

議会活動の今後は？

住民の多様な意見を、政策に反映できる議会機能の強化が求められている。より一層の情報公開や住民参加を進め、開かれた議会を実現する。

まとめ

今後とも住民のための政策実現を目指して、議会機能強化の研究をして、議会改革を進めていく。

区長と議員が意見交換



区長と議員、町三役が一堂に会した研修会

毎年恒例となった区長会と議会との合同研修会が、5月19日に玉村町役場で開催されました。

この研修会は年1回、区長と議員がともに町の課題を認識し、町の発展のための取り組みについて意見交換をすることを目的に実施されています。

初めに町長から町政報告があり、続いて議会から各委員長が委員会の取り組みと活動の報告を行いました。

区長からは、人口減少対策や花火大会の開催状況、道の駅玉村宿の経営方法など、各種各般にわたる質問や要請が多数出され、活発な研修会となりました。

こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のついで

その他